

教員詳細情報

九州看護福祉大学

| | |
|----------------------|--|
| 氏名 | 本田泰弘 |
| 連絡先メールアドレス | yashonda@kyushu-ns.ac.jp |
| 役職・職名 | 教授 |
| 所属 | 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科 |
| 略歴 | 岡山大学医学部附属病院麻酔科・蘇生科疼痛外来担当（1982年～1988年） 日本指圧専門学校卒業（1990年） 筑波大学理療科教員養成施設卒業（1992年） 九州大学大学院医学系学府医療システム学分野研究生（2007年） 久留米大学大学院心理学研究科後期博士課程修了（2012年） 福岡天神医療リハビリ専門学校・鍼灸学科長（2007年4月～2017年3月） 九州看護福祉大学・看護福祉学部・鍼灸スポーツ学科教授（2017年4月～） |
| 取得学位 | 博士（心理学）久留米大学 2016年 |
| 担当科目 | 医学概論、解剖学Ⅱ、臨床病態生理学Ⅰ（外科、整形外科、スポーツ傷害）、 社会鍼灸学演習、鍼灸医学総合演習、 鍼灸臨床実習Ⅱ（外科系）・Ⅲ（鍼灸スポーツ系）、鍼灸治療所実習Ⅰ・Ⅱ、 卒業研究、卒業研究論文 |
| 専門分野 | スポーツ鍼灸、ペインクリニック領域の鍼灸、美容鍼灸 |
| 所属学会 | 全日本鍼灸学会、日本東洋医学会、日本心理学会、日本健康心理学会、 日本健康支援学会、日本ストレス学会、日本ストレスマネジメント学会 |
| 現在の研究テーマ | スポーツ領域における鍼灸の研究 鍼灸医学とメンタルヘルス 鍼灸医学を応用したセルフケア法の開発 |
| 教育研究業績 (著書・学術論文等) | (著書) 1. スポーツ東洋療法ハンドブック（共著）、医道の日本社、2001年 2. 痛みのマネジメント（共著）、医歯薬出版株式会社、2005年 (学術論文) 1. <u>本田泰弘</u> , 古谷 生, 小坂 二度見 他 (1985). 鍼灸学校卒業後の進路と実態調査. 日本鍼灸学会雑誌, 35, 1, 57-61. 2. <u>本田泰弘</u> , 津田 彰, 鄧 科, 堀内 聡 (2010). 鍼灸医学的メンタルヘルス診断としての頸部経絡テストの有用性. 久留米大学心理学研究, 9, 69-76. 3. <u>本田泰弘</u> , 津田彰, 堀内聡 (2012). セルフ経絡指圧が気分に及ぼす急性効果とそのユーザビリティに関する研究. 久留米大学心理学研究, 11, 8-14. 4. <u>本田泰弘</u> , 津田 彰, 堀内 聡 (2012). 経絡テストの陽性反応とストレスの自覚との関連性. 東洋医学とペインクリニック, 42, 17-25. 5. <u>Honda Y.</u> , Tsuda A, & Horiuchi S. (2012) Effect of a four-week self-administered acupressure intervention on perceived stress over the past month. <i>Open Journal of Medical Psychology</i> , 1, 20-24. 6. <u>Honda Y.</u> , Tsuda A, Horiuchi S. (2012) Four-week self-administered acupressure |

| | |
|------------------|--|
| | <p>improves depressive mood, <i>Psychology</i>,3, 802-804.</p> <p>7. <u>Honda Y</u>, Tsuda A, & Horiuchi S. (2012) Validity of neck meridian test as a measure of stress. <i>Open Journal of Medical Psychology</i>, 1, 81-85.</p> <p>8. <u>本田泰弘</u>, 津田 彰, 堀内 聡 (2013). 自覚ストレスの評価法としての頸部経絡テスト. <i>東洋医学とペインクリニック</i>, 42, 56-67.</p> <p>9. <u>本田泰弘</u>, 津田 彰, 堀内 聡 (2013). セルフ経絡指圧がストレスに関連した気分にあぼす効果. <i>健康支援</i>, 15, 49-54.</p> <p>10. <u>Honda Y</u>, Tsuda A, oriuchi S, Aoki S. (2013) Baseline Anxiety Level as Efficacy Moderator for Self-Administered Acupressure for Anxiety Reduction. <i>International Journal of Prevention and Treatment</i>, 2, 3, 41-45. 他</p> |
| <p>社会活動・社会貢献</p> | <p>鍼灸医学の啓蒙普及活動</p> <p>① 山陽新聞カルチャープラザ「家庭でできるツボ実践」講師 (1986年)</p> <p>② NHK「健康のツボ入門」9回シリーズ出演 (1999年)</p> <p>③ 医師のための鍼灸医学講座講師 (2016年4月～) 他</p> <p>④ 九州看護福祉大学 公開講座「健康のためのツボ入門」(2017年10月)</p> |